

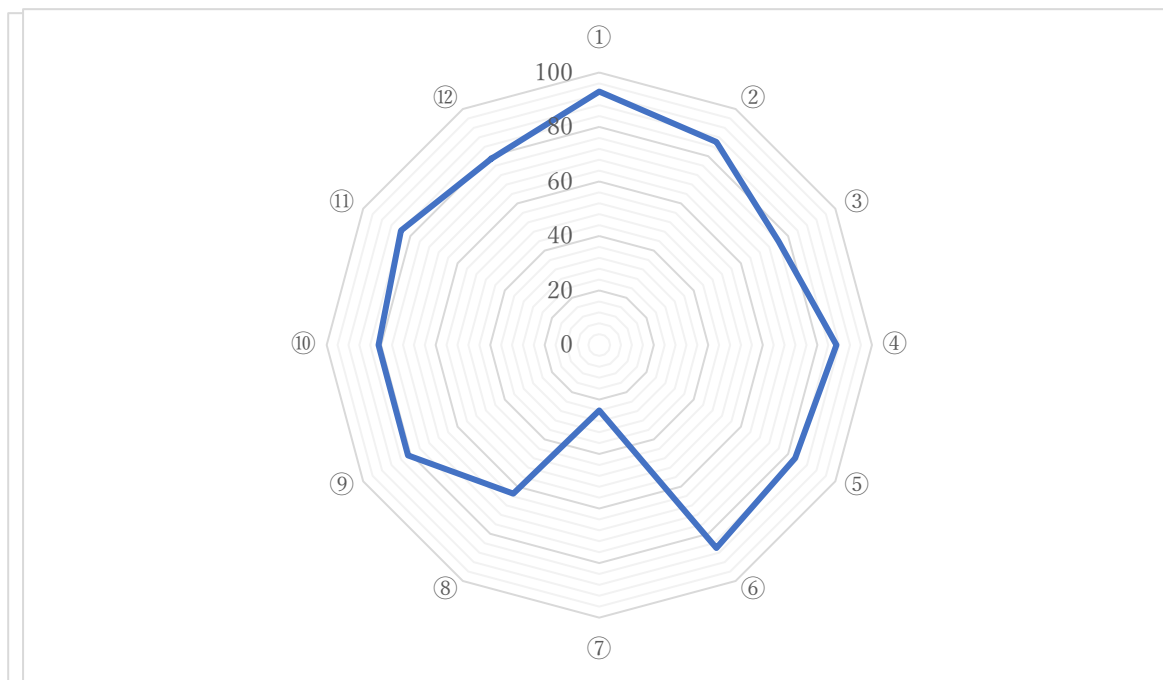
自己評価集計結果

<評価方法>

評価を4段階とし、項目を①~⑫に分け、それぞれの合計点をだす。

下記の集計表及びレーダーチャートは、回答した保育者の点数の平均点を表示している。

		R4 12月 回答数 8名	R5 2月 回答数 10名
評 価		平均点	平均点
I 保育の基本的 理念と実 践に係る観点	① 子どもの最善の利益の考慮（6項目）	90	93
	② 子どもの理解（9項目）	90	86
	③ 保育の環境（人・物・場）の構成（7項目）	78	76
	④ 保育士等の子どもへの関わり （援助・行動・言語・位置・タイミング・配慮等）（7項目）	85	87
	⑤ 育ちの見通しに基づく保育（8項目）	85	83
II 家庭及び地域社会との連携や 子育て支援に係る観点	⑥ 入所する子どもの家庭との連携と子育て支援（8項目）	87	86
	⑦ 地域の保護者等に対する子育て支援（4項目）	24	24
	⑧ 地域における連携・交流（4項目）	77	63
III 保育の実施運営・体制全 般に係る観点	⑨ 組織としての基盤の整備（8項目）	83	81
	⑩ 社会的責任の遂行（3項目）	86	81
	⑪ 健康及び安全の管理（12項目）	82	84
	⑫ 職員の資質向上（6項目）	79	84



まとめ

⑦地域の保護者等に対する子育て支援、⑧地域における連携・交流に関しては、コロナが落ち着いてきた事もあり、園庭解放や誕生会でのボランティア団体による読み聞かせなどを行い、地域の子育て家庭への支援や地域社会との交流につなげていきたい。地域の小学校との連携についても、就学前の子ども達が小学校に向けて気持ちの準備をする事につながるの、計画的に交流をできればと思う。令和5年度は新しい職員が増える為、ふれり保育園の理念やめざす職員像を確認し、保育計画や園内研修、各研修に参加する事で、職員の資質向上に努めたい。